

私たちは地域・職域・学校など、
生活のいろいろな場面で
「健康寿命」をのばす運動を
実践しています。

よぼう医学

THE NEWS OF HEALTH SERVICE

(財)東京都予防医学協会
(財)予防医学事業中央会東京都支部
発行人 北川照男・編集人 山内邦昭
発行所 〒162-8402
東京都新宿区市谷砂土原町1の2
保健会館 電話 03(3269)1131
http://www.yobouigaku-tokyo.or.jp
毎月15日発行 年間購読料 300円(1部30円)



●— 今月の主な紙面 —●

- (1面) ● 増加する若年発症2型糖尿病
- (2~3面(見開き))
 - 連載 暮らしと微生物—カビを中心に 第3回
 - 連載 たばこ問題とその規制対策 第10回
 - 話題 携帯型超音波診断装置の展望
 - 連載 健康づくり・健康増進を支援するページ 実践編 第10回
- (4面) ● 「がん研究助成金によるシンポ」開催
 - 新刊紹介「健康相談ノート(5)」
 - プライバシーマークを取得しました・本会
 - 保健会館クリニックの顔⑦
 - お知らせ

増加する若年発症 2型糖尿病

日本成人病(生活習慣病)
学会会長講演より

若年者の生活習慣改善に対する 国をあげた取り組みの重要性強調

急速に高齢化が進むが国では、いかに元気に長生きするか大きな課題となっている。いっぽう生活習慣の欧米化などを背景に、糖尿病をはじめとする生活習慣病は急増しており、生活習慣病は国民医療費の約3割、死因別死亡割合の約6割を占めるまでになっている。その対策の一環として国は、生活習慣病予防の徹底を医療制度改革の柱の1つに位置付け、「2015年までに生活習慣病有病者・予備群を25%減少させる」とする政策目標を掲げた。こうした中、「生活習慣病の予知と予防」をテーマに、第41回日本成人病(生活習慣病)学会学術集会(会長 岩本安彦東京女子医科大学教授)写真が1月13日、14日の2日間にわたって、東京・千代田区の都市センターホテルで開催され、多数の講演やシンポジウムが行われた。今月はその中から、岩本教授の会長講演の要旨を紹介する。



岩本教授はまず、「健康日本21」などによる国をあげた取り組みにもかかわらず、1997年から2002年までの5年間に、糖尿病の患者とその予備群が約250万人増加している(図)ことを指摘し、「2型糖尿病の発症の増加は成人のみならず、低年齢層にも及んでいる。東京で

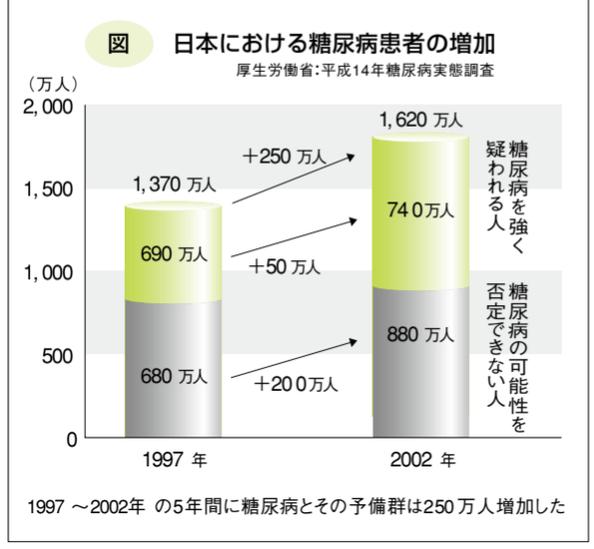
本21」などによる国をあげた取り組みにもかかわらず、1997年から2002年までの5年間に、糖尿病の患者とその予備群が約250万人増加している(図)ことを指摘し、「2型糖尿病の発症の増加は成人のみならず、低年齢層にも及んでいる。東京で

は1973年から学校検尿が行われ、糖尿病の発症に役立ってきたが、それらのデータからも、学童における2型糖尿病の発生頻度が肥満児の増加と並行して増加傾向にあることが示されている」と述べた。

そして2型糖尿病の病態について、「代表的な生活習慣病である2型糖尿病は、インスリン作用の不足により高血糖を生じる疾患である。インスリン作用の不足は、主に遺伝的に規定されたインスリン分泌の低下と、遺伝因子と環境因子に影響を受けるインスリン抵抗性がさまさまな程度に発生して生じるものとされる。このうち環境因子としては、肥満、過食、運動不足などの生活習慣と、ストレス、加齢などがある」と解説した。

その上で岩本教授は、「東京女子医大糖尿病センター(センター)の受診者のうち、30歳未満に発症・発症した糖尿病患者の発症・発症年齢ごとの人数を病型別にみると、2型糖尿病と1型糖尿病は、15歳でほぼ同数となり、10代後半以降は2型糖尿病が1型糖尿病をはるかに上回る数となっている」と述べ、30歳未満で発症する2型糖尿病が少なくないことを強調した。

そして、「初診時に未治療であった若年発症2型糖尿病患者のうち、糖尿病の家族歴のある人は全体の80%以上に及んだ。さらに家族歴の有無別に発症年齢やBMI、治療状況などを比較すると、家族歴が濃厚な症例ほど発症年齢が若く、BMIが低いこと、インスリン治療の比率が高く、治療後のコントロールも不良であることが明らかになった。こうしたことから、



このように若年発症2型糖尿病は、自覚症状が乏しいために治療中断や放置につながりやすく、2型糖尿病の好発年齢といふべき中高年に達したときには罹病期間も長く、重篤な合併症を発症しているケースが少なくない。

さらに岩本教授は、こうしたハイリスク群に対して、遺伝的に糖尿病の発症を予知し、より効果的な発症予防を行うことをめざした遺伝子研究が世界中で進展しているとして、今後の糖尿病研究の展望を示し、「2型糖尿病は遺伝因子と環境因子の相互作用によって起こるが、遺伝因子が濃厚にあったとしても、生活習慣の是正によって十分に発症予防できるといような力強い成績も明らかになりつつある」とした。

個人情報取扱について

日ごろより、東京都予防医学協会の機関紙「よぼう医学」をご愛読くださりありがとうございます。本会では、現在「よぼう医学」を送付させていただいている皆様について、送付に必要な情報(名前、住所、所属、役職など)を送付名簿として保持しております。これらの個人情報の収集、保存、利用につきましては、本会の個人情報保護方針に基づき、厳重な管理のもとに運用しております。そのうえで今後も継続して送らせていただきたいと思います。送付名簿から削除を希望される場合には、お手数ですが、広報室(電話 03-3269-1131)までご連絡ください。

健康管理相談をお引き受けします

当センターの会員が事業所、学校、各種団体の健康管理をアドバイスいたします。

お問い合わせ・ご相談は(予約制)
電話 東京(03)-3269-1141
健康管理コンサルタントセンター
事務局 東京都新宿区市谷砂土原町1の2
(財)東京都予防医学協会

◆◆ コンサルテーションのごあんない ◆◆

- 3月 7日 岡 惺治(健康管理コンサルタント)
- 14日 三輪祐一(東京都予防医学協会総合健診部長)
- 21日 祭日のため休み
- 28日 第212回ヘルスケア研修会につき休み

- 4月 4日 岡 惺治
- 11日 三輪祐一
- 18日 岡 惺治
- 25日 三輪祐一

「がん研究助成金によるシンポ」開催

情報提供のサービス向上で がん医療の均てん化めざす

がん研究の成果を広く社会に還元し、今後のがん研究およびがん診療の効果的な展開を図ることを目的に、厚生労働省がん研究助成金によるシンポジウムが1月13日に開かれた。研究者向けに「がん対策情報センター」とがん診療連携拠点病院の機能と役割、一般市民向けに「正しいがん情報の提供とその利用」をテーマとする2部構成で、国立がんセンター中央病院に隣接する国際研究交流会館の国際会議場をメイン会場に(写真)、全国18会場を中継で結んで開催された。このうち研究者向けシンポジウムには、医師や専門家、病院関係者ら約700人(中継会場含む)が参加した。



研究者向けシンポジウムで「がん対策基本法」が4月から施行されることを受けて、「今後のがん対策について」、「諸外国のがん対策」、「治療および緩和医療体制」、「相談支援センター体制」、「院内がん登録」、「医療者の育

成」などのテーマがとりあげられた。国や諸外国の動き、国立がんセンターに設置されたがん対策情報センターと、がん医療均てん化の促進策として全国に整備が進められているがん診療連携拠点病院の機能と役割について、先進的に取り組んでいる医療機関からの報告と討論が行われた。

このうち、がん対策情報センターの若尾文彦センター長補佐は、「がん対策情報センターにおける情報提供機能」と題する発表で、「全国どこでも質の高いがん医療を受け

ることができるよう、がん医療水準の均てん化施策が進められている。このための中核的組織としてがん対策情報センターが設立された」と述べ、同センターの6つの機能について説明し、そのなかでがん医療情報提供機能に

保健会館 クリニックの 顔



内視鏡外来
岩崎栄典医師

食道胃十二指腸といつた上部消化器疾患が専門の岩崎栄典医師は、慶應義塾大学で臨床や研究に当たる

かたわら保健会館クリニックの内視鏡外来を担当している。「当外来では、健診や人間ドックなどの胃部X線検査で要精密検査とされた方に内視鏡検査を行っています。検査は、口から内視鏡を入れて、食道、胃、十二指腸の順にモニター画面に映し出して観察し、必要に応じて、必要に応じて病変部の採取を行うもので、所要時間は5分から10分程度です。精密検査ということで、不安を極める岩崎医師の多忙を極める岩崎医師の元気の素は、「1歳になる長男と遊ぶこと」といっ

プライバシーマークを 取得しました

本会

備を積極的に進めてきた。こうした取り組みが

お知らせ

第212回ヘルスケア研修会

健康管理のトラブル
判例から学ぶ

3月28日(水)午後2時~4時
東京・永田町「星陵会館」

第212回ヘルスケア研修会が3月28日(水)午後2時から4時まで、東京・永田町の「星陵会館」で開かれる。「健康管理のトラブル」判例から学ぶ」をテーマに、東京産業保健推進センターの加藤雅治氏が講演する。司会は、東京地下鉄保健医療センター所長の鷲崎誠氏。

本会では、毎年多くの検査・健診などを行い、多くの個人情報をお預かりしている。これらの個人情報を正確かつ安全に取り扱うことは本会の社会的責務であり、そのために2005年2月より本会内に個人情報管理委員会を立ち上げ、個人情報保護方針、「個人情報保護規定」などを制定するとともに、それに基づく個人情報の管理体制の整備

本会では、今後も個人情報



岡先生が本としてまとめた『健康相談ノート』の(1)から(5)に共通している思想があります。身体検査は受けられた本人の健康に役立つためのも

新刊紹介

のであること、問診は紙の上だけでなく直接本人との会話が必要であること、健康相談も相談を担当する医師、保健師、看護師、栄養士のための

岡惺治先生の『健康相談ノート(5)』

野田労働衛生コンサルタント事務所 野田 一雄

ものでなく、読まれています。相談者本人が、最初の事例に出てくる粥状硬化の病名にしても、医師を有効に活用するための、医師を含めた担当者にとっては当然のことである、と



本会では、今後も個人情報

血圧に依存しない動脈硬化指標

$$PWV = (\text{動脈の硬さ}) + (\text{測定時血圧})$$

測定時の血圧が高くてもPWV(脈波伝播速度)は上昇します。CAVIは「スティフネスパラメータβ」を用いた、測定時の血圧に依存されない「血管固有の硬さ」を評価する指標です。

血圧脈波検査装置

VaSera™ VS-1000

CAVI ABI BPB

3つの指標で動脈硬化の診断をサポート。

医療機器承認番号: 21400BZZ00132000

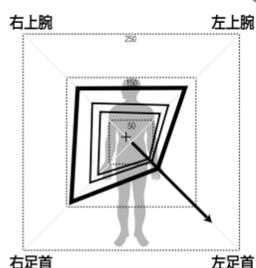


CAVI Cardio Ankle Vascular Index

ASO患者(左足狭窄例)

四肢の血圧バランスから虚血部位が一目でわかる
BP Balance
を搭載!

●四肢の血圧の状態を図で示すことにより、虚血部位が視覚的にわかります。



本社 / 〒113-8483 東京都文京区本郷3-39-4 TEL (03) 3815-2121 (代) http://www.fukuda.co.jp
お客様窓口… ☎ (03) 5802-6600 / 受付時間: 月~金曜日(祝祭日、休日を除く) 9:00~18:00
● 医用電子機器の総合メーカー **フクダ電子株式会社**